

平成 27 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校 「特別活動の取組事例」

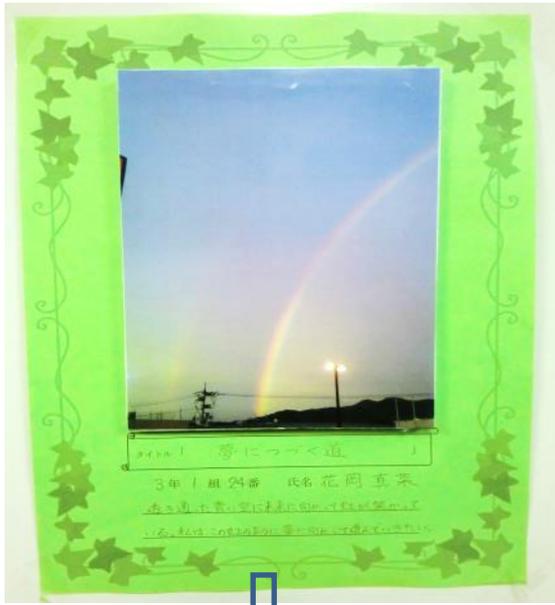
学校名	広島県立河内高等学校	校長氏名	西山 光人	生徒指導主事氏名	井上 健二
取組事例名 『文化祭における全校写真展』					
取組のねらい『キーワード 感動の共有』					
文化祭のテーマである「笑喜泣感」に沿った写真を全校生徒から募集・展示することで、お互いの友情や愛情を認識するとともに、美しさに対する感性や感動する心を育てる。					
取組の具体的内容『キーワード テーマから考える』					
<p>1 ①「笑顔にあふれる生活」②「喜びに満ちた生日々」③「泣ける河内高校」④「感動を誘う風景」をテーマとした写真を撮り、メディアを学校へ持参するかアドレスにデータを送る。</p> <p>2 生徒会執行部が生徒会 P C を使って印刷し、特設展示場で展示する。(写真のタイトルや説明のコメントを生徒に書かせたものを添える)</p> <p>3 校内選考会で優秀作品を選定し、表彰するとともに、文化祭終了後には、拡大したものを額に入れ、一定期間廊下に掲示する。</p>					
取組の課題・創意工夫『キーワード 伝える』					
<p>一番の課題は全校写真コンテストと題しながら、応募が約 6 割であったことである。周知の方法、応募期間、データの持ち込み方などの課題が残った。</p> <p>当初は、いたずらや肖像権、プライバシー侵害の問題を憂慮したが、応募された作品にそれらの問題は全くなかった。</p>					
取組の成果（効果）『キーワード 他者理解』					
<p>花や海、夕焼けといった自然界の写真、犬や猫といった動物の写真、友達とのスナップ写真など応募された写真は様々であった。(裏面参照)</p> <p>文化祭の展示とあって、多くの生徒・来場者に作品を見てもらうことができた。そのことによる自己肯定感の高まりはもちろんであるが、他の生徒の意外な面や感性を知る良い機会になった。</p> <p>また、写真は単なる思い出の記録や記憶の補助でなく、見る者に感動や癒しを与えたり、相手に自分の気持ちを伝えたり、共有したりするコミュニケーションの媒体としての役割もある。そういう意味で今回のコンテストにおいて写真を撮る(被写体を探す)こと、見ることを通じて情操教育の一助となった。</p> <p>【生徒の感想】</p> <p>○空を見上げることが増えた。アルバイトで疲れているときに星空を見ると疲れがとれる。</p> <p>○人の写真を見て、自分と違って視点があると分かった。</p> <p>○笑顔の写真に癒された。</p> <p>○表彰されて嬉しかった。</p> <p>○自分が撮った写真が人を感動させられたいい。</p> <p>○テーマが絞られ過ぎ。もう少し自由に撮りたかった。</p>					
今後の展開『キーワード 発展』					
文章を書いたり、読んだりすることを苦手とする生徒が多い本校にとって、写真や映像は「伝える」手段、「考えさせる」手段として非常に有効であると考えます。今後は、写真の一つの教材として『一枚の写真から』と副題をつけて展開する授業や道徳教育も考えていきたい。					

他校へのアドバイス『キーワード 評価と継続』

今回は優秀作品のみを表彰したが、出品した写真には生徒それぞれの思いがあるはずである。1行でもいいからコメントや講評を入れることで、生徒の自己肯定感はさらに高まると思う。

【受賞作品】

『感動を誘う風景』部門優秀賞



タイトル 「夢につづく道」

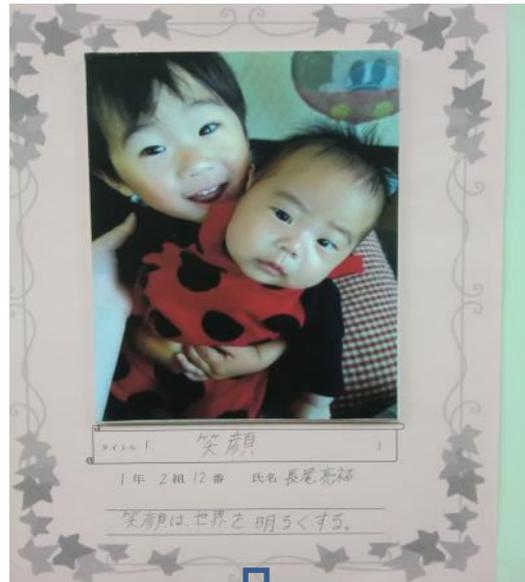
コメント

透き通った青い空に未来に向かって虹が架かっている。私はこの虹のように夢に向かって進んでいきたい。

【表彰式の様子】



『笑顔にあふれる生活』部門優秀賞



タイトル 「笑顔」

コメント 笑顔は世界を明るくする。

【クラス用案内文】



～全校写真展～

平成27年5月25日
総務部(生徒会)

☆ 文化祭で生徒一人一人が撮影した写真を展示します。

- テーマ**
- ①「笑顔あふれる生活」
 - ②「喜びに満ちた日々」
 - ③「泣ける！河内高校！」(河内高校に關わる写真でなくてもよい)
 - ④「感動を誘う風景」
- ※いずれかひとつのテーマに沿った写真を提出する。

☆ 撮った写真は、2L版の大きさに現像して学校へ持ってきてください。(担任へ)
☆ なお、個人で現像できない場合は次の①か②の方法でもOKです。

- ①撮影した写真のデータが入ったメディアを学校へ持つてくる。
 - ②撮影した写真のデータを河内高校のアドレスへメール送信する。
- アドレス : kouchi@hiroshima-c.ed.jp
件名 : 学年・クラス・氏名
データ名 : 学年・クラス・氏名
本文 : なし

☆ 必切: 6月1日(月)

尚 修 繕 に は
十 分 注 意 し ま
し ょ う。

※ 件名、示一タ
名に忘れずに氏
名を書かずに、
誰の写真か分か
らなくするよ。